

26	入力内容を保存	27	鉛直荷重計算に移動	28	水平荷重計算に移動	29	終了
<b>アイ・テックSデッキ構造計算プログラム-入力画面</b>						<b>※ 26～29はクリックで保存・移動・終了</b>	
工事名称 <input type="text"/>						← 工事名称を入力( ○○○新築工事など )	
<b>●検討条件</b> <input type="text"/>						← 検討条件を入力( No.1 2階 DS1 事務室 など)	
<b>鉛直荷重の検討</b>							
<b>●デッキプレート</b>		デッキ山高( H )	50	mm	← リストからデッキ山高を選択		
		デッキ板厚( t )	1.2	mm	← リストからデッキ板厚を選択		
		表面処理	Z12		← リストから表面処理を選択		
		支持条件	単純支持		← リストから支持条件を選択		
<b>●スパン</b>		施工時( WLd )	2000	mm	← 施工時のスパン(支持材の内法)を入力		
		設計時( Ld )	2000	mm	← 設計時のスパン(支持材の中心間距離)を入力		
<b>●コンクリート</b>		種類	普通		← リストからコンクリート種類を選択		
		基準強度( Fc )	18	N/m <sup>2</sup>	← リストから基準強度を選択		
		スラブ厚( S )	80	mm	← リストからスラブ厚(山上50～100mm)を選択		
		スラブ厚(S)が100mmを超える分	0	mm	← 山上スラブ厚が100mmを超える分を入力 ※ (100mmを超えない場合は0と入力)		
<b>●中間支保工</b>		無				← リストから中間支保工の有無を選択	
<b>●ひび割れ拡大防止筋</b>		φ 6-150 × 150				← リストからひび割れ拡大防止筋を選択	
<b>●荷重</b>		積載荷重( WLL )	2900	N/m <sup>2</sup>	← 積載荷重を入力		
		その他の荷重( WOL )	1000	N/m <sup>2</sup>	← 仕上等を含むその他の荷重を入力		
		施工時作業荷重( WWL )	1470	N/m <sup>2</sup>	← 作業荷重(通常1,470N/m <sup>2</sup> )を入力		
<b>●接合方法</b>		焼抜き栓溶接				← リストから接合方法を選択	
<b>●耐火認定仕様</b>		FP060FL-0184				← リストから耐火認定番号を選択 ※ FP060～は1時間耐火・FP120～は1・2時間耐火に対応	
<b>●鉛直荷重の判定</b>		<a href="#">クリックで計算書へ→</a>		鉛直荷重の計算		<b>27</b>	
		1. 施工時の検討		OK		← 施工時の検討結果を表示	
		2. 設計時の検討		OK		← 設計時の検討結果を表示	
		3. 耐火仕様の検討		○		← 耐火時の検討結果を表示	
<b>水平荷重の検討</b>							
<b>●接合方法</b>		焼抜き栓溶接 の検討		7.4		kN/個	
<b>●柱スパン</b>		デッキと平行方向のスパン( Lx )	6000	mm	← デッキと平行方向の柱スパンを入力		
		デッキと直行方向のスパン( Ly )	7500	mm	← デッキと直行方向の柱スパンを入力		
<b>●地震時積載荷重( WeL )</b>		800		N/m <sup>2</sup>		← 地震時積載荷重を入力	
<b>●地震層せん断力係数( Ci )</b>		0.5		← 地震層せん断力係数を入力			
<b>●水平荷重の判定</b>		<a href="#">クリックで計算書へ→</a>		水平荷重の計算		<b>28</b>	
<b>●接合間隔</b>		デッキ断面方向	200	mm	← デッキ断面(直行)方向の接合間隔を入力		
		デッキ長手方向	600	mm	← デッキ長手(平行)方向の接合間隔を入力 ※ 焼抜き栓溶接の最大間隔は計算結果に係わらず、デッキ断面方向200mm・長手方向600mmまで		